

見附特別支援学校 学校だより



見附市立見附特別支援学校
令和6年度 第3号
令和6年7月24日
新潟県見附市月見台 1-10-74
電話 (0258) 63-2210

学校ホームページに、学校だよりやブログを掲載しています。こちらもぜひご覧ください。

切れ目ないキャリア形成の必要性

進路指導主事

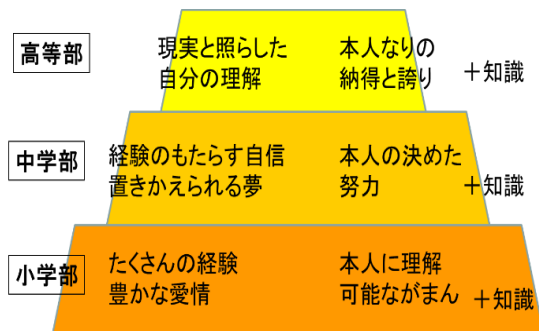
高等部では5月下旬から3週間の前期職場・校内実習を進めてきました。今回は、市内外9つの企業様、事業所様から、生徒一人ひとりを考えたすばらしい実習環境を整えていただきました。ご協力を賜ったすべての皆様へ、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、今回の職場実習では、3年生を中心に卒業後の進路や生活に向けて力を存分に発揮したり、新たな課題を見つけたりと、手ごたえのある実習を行えた生徒が多くいました。それらの生徒を見ながら、その秘訣について考えを巡らせると、『卒業後、こうなりたい、こういう生活がしたい』という具体的かつ努力で実現可能な目標がある」「正しい自己理解と課題の明確化」などの共通点が挙げられます。

では、このようになるために、どんな準備ができるのでしょうか。障害児の心の発達に関して研究をされている坂口しおり氏は「各発達段階における指導の重要」について述べられており*、それらを当校に当てはめると右図のようになります。ここから言えることとして、仕事や人生設計といった「キャリア教育」は、卒業を目前にした高等部のその時限りの一過性のものではなく、早期から児童、生徒一人ひとりの発達段階に合った指導や支援、かかわり方を行い、経験の積み上げていくこと、つまり「土台づくり」が重要だということです。

見附特別支援学校の「売り」のひとつには、小・中学部、高等部から社会参画、その後のアフターフォローまでの切れ目のない支援・指導が挙げられます。ぜひ、「将来のため」に「今できること」を、保護者と学校で一丸となり取り組んでいければと存じます。

*引用・参考文献 坂口しおり著 「絵で見る言葉と思考の発達」 ジアース教育新社



◆◆◆◆◆ 学部紹介 ◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆ 小学部 ◆◆◆◆◆

7月3日(水)に、七夕集会を行いました。今回は、2年生が司会進行を務めました。

集会では、「たなばたさま」を歌ったり、願い事を発表したり、ゲームをしたりするなどして楽しみました。

七夕ゲームでは、違う学年同士がペアになり、彦星と織姫の待つ夜空に2人で協力して星を飾りました。相手を待つ姿や、「ありがとう」の気持ちを言葉やお辞儀、ハイタッチで伝える姿も見られました。

交流も深めることができ、心温まる時間となりました。



◆ ◆ ◆ 中学部 ◆ ◆ ◆



6月19日(水)に社会科見学でウオロク見附店と見附消防署へ行ってきました。

ウオロクでは、売り場や普段入ることができないバックヤードを見学しました。刺身や揚げ物、寿司、パンを作っている姿を真剣に見ていました。また、在庫を保管する-20℃の冷凍室に入らせてもらいました。みんな寒くてびっくりしていました。

消防署では、ポンプ車やはしご車の仕組みや車のナンバーのひみつを教えてくださいました。救急車の中にも入らせていただきました。

さまざまな仕事に触れて、充実した見学となりました。



校内実習



◆ ◆ ◆ 高等部 ◆ ◆ ◆

5月27日(月)から6月14日(金)の3週間、前期の校内・職場実習を行いました。

校内実習は、生徒の実態に合わせて2つの作業班に分かれて行いました。卒業後の生活を想定し、個々に決めた目標に向かって精一杯頑張る姿が見られました。

職場実習では、2・3年生が市内外の企業や福祉サービス事業所で実際に仕事をさせていただきました。個々に合った企業や事業所で、実際の業務やサービス内容に沿った実習を行わせていただきました。

今回の実習で出てきた課題を2学期に行われる後期実習で改善し、よりよい実習にしていきたいと思います。

職場実習

